

経済日誌2010年2月

注)1DH(ディルハム)=約12円

I. モロッコ国内経済

1. 指標等

①2009年歳入¹

2009年は法人税・所得税とも軒並み減少。

	2008年	2009年	推移
一般会計歳入	1863億DH	1736億DH	-6.8%
税金	1673億DH	1521億DH	-9.1%
法人税	463億DH	435億DH	-6.0%
所得税	333億DH	258億DH	-22.5%
付加価値税	429億DH	396億DH	-7.7%
関税	137億DH	118億DH	-13.9%
国内消費税(たばこ・石油税など)	187億DH	196億DH	4.8%
不動産登記税・印紙税など	102億DH	95億DH	-6.9%
税金以外	163億DH	183億DH	12.3%

②2009年の失業率²

・2009年の失業率は9.1%(前年は9.6%)

 都市部失業率は13.8%(前年は14.7%)

 農村部失業率は4%(前年も4%)

③2009年高速道路利用状況³

1日平均1100万台が高速道路を利用。2008年に比して10.9%の増加。最も交通量が多かったのはカサブランカーラバト間で、一日平均42762台(前年比7.7%増)。

¹モロッコ経済財政省「Note de Conjoncture, Premiers résultats de l'année 2009」、10頁より抜粋、(2月10日公表)

²モロッコ高等計画委員会、エコノマップ(2月4日)

³エコノマップ(2月1日)

④2009年外国からの観光客数⁴

外国からの観光客総数は前年比6%増加し、834万人。うち在外モロッコ人が約半数の404万人。(日本からの観光客数は19149人:前年比22.7%増)

一方、宿泊総数は前年の1640万泊に対して1620万泊と1%の減少。

	2008年	2009年	前年比推移(%)
フランス	3,000,000	3,121,000	4
スペイン	1,687,000	1,850,000	10
ドイツ	419,000	423,000	1
英国	388,000	362,000	-7
イタリア	287,000	318,000	11
ベルギー	419,000	469,000	12
オランダ	395,000	443,000	12
スカンジナビア	88,000	84,000	-5
米国	157,000	173,000	10
その他	1,038,000	1,099,000	6
うち日本	(15,607)	(19,149)	22
うち在外モロッコ人	3,667,000	4,048,000	10
外国人	4,212,000	4,293,000	2
合計	7,879,000	8,341,000	6

⑤2009年の固定・携帯電話、インターネット加入者データ(2009年12月31日付データ)⁵

携帯電話契約数が2500万台を突破。単純に人口から割り出した普及率は81.18%。(注:実際には一人で二台以上を所有するケースも多い。)また、インターネット契約数の増加も顕著(普及率は3.81%)。

(1) 固定電話契約数:3,516,281(前年:2,991,158 前年比:17.6%増)

マーケットシェア:Wana(64.6%), Maroc Telecom(35.1%)、Meditel(0.3%)

(2) 携帯電話契約数:25,311,000(前年同期:22,816,000、前年比:10.9%増)

マーケットシェア:Maroc Telecom(60.34%)、Meditel(37.27%)、Wana(2.39%)

(3) インターネット契約数:1,186,923(前年同期:757,453、前年比:56.7%増)

(接続形態は、3Gが59.58%、ADSLが39.98%)

マーケットシェア:Maroc Telecom(53.96%)、Wana(32.87%)、Meditel(12.94%)、その他(0.22%)

2. 建設・公共事業・インフラ等

⁴ 観光省ウェブサイト(www.tourism.gov.com)

⁵ L'Agence Nationale de Réglementation des Télécommunications(ANRT)ホームページ:ww.anrt.ma、エコノマップ(2月26日)

①西ナドール地中海港の管理会社の設立⁶

モロッコ港湾公社(ANP: Agence Nationale des Ports)が資本金51%、タンジェ地中海港特別庁(TMSA: Agence Spéciale Tanger Méditerranée)が資本金49%の割合で提携し、西ナドール地中海港(Nador West Med)プロジェクトの管理会社である「西ナドール地中海港会社」(Nador West Med S.A)を設立。同会社は2010年の工事開始の監督から携わる。

総裁は M.Mehdi Tazi-Riffi 氏で、同氏は二年間タンジェ地中海港プロジェクトに関わった。現在36歳。

②Al Omrane住宅公社の投資状況⁷

2009年は14万DHの社会住宅を52,088戸建設(2012年までの建築目標値の40%に相当)、83億DHを投資した。投資額は前年比14%増。2010年の投資額はそれより多く85億DHになる見込みであり、社会住宅7万戸が建設される予定。(7万戸のうち1万戸は25万DHの社会住宅。)

③民間企業による社会住宅の建設⁸

モロッコの不動産大手 Addoha グループがここ5年間で25万DHの社会住宅を12万戸建築すると発表。現在のところはカサブランカ、アガディール、メクネス、マラケッシュ、タンジェなどの大都市に限られている。

また、Alliances Developpement 社も25万DHの社会住宅を8万戸建設。

5年間で500戸以上の社会住宅を建設する会社に対しては2010年1月1日から税金などの優遇策がとられている(2010年予算法)。

④カサブランカトラムウェイのインターネットサイトサービス開始⁹

Casa Transports 社がカサブランカで初のトラムウェイ路線に関する情報を提供するインターネットサイトのサービス開始を始めた。工事の進捗状況などがサイトで確認できるようになっている。サイトは www.casatramway.ma (仏語)

⑤タンジェのリゾート地開発¹⁰

モロッコ観光エンジニア会社(Société marocaine d'ingénierie touristique)がタンジェのGhandouri にリゾート地「La Plage」を開発する。ミニメディアナとホテル、高級住宅などの開発が含まれる。場所は Movenpick Hotel の近く。建設会社などはまだ決定していない。工事は3年の予定。

⁶ エコノマップ(2月24日)

⁷ エコノマップ(2月18日)

⁸ エコノマップ(2月16日)、La Vie Eco (2月19日)

⁹ エコノマップ(2月16日)

¹⁰ エコノミスト(2月17日)

3. 農業・漁業

①小規模ダム・貯水池の建設¹¹

2030年には50億m³の水が不足すると予測されているところ、この不足を補うために貯水量増加を目指し、全国に小規模ダムおよび貯水池を1000カ所新たに建設する。ハッサン2世国王時代にダム建設が進められ、現在は大規模ダム128カ所、小規模ダム74カ所、38の貯水池がある。

②植林プログラム(2009～2010年)¹²

砂漠化防止水利・森林・高等委員会(Haut commissariat aux eaux et forêts et à la lutte contre désertification)により植林プログラム(2009～2010年)が開始されている。植林面積45000ヘクタール、4000万本の苗木生産が含まれるが、植林は24000ヘクタールが終了し、目標値の60%に達している。アルガンの木、杉などが植林されている。費用総額は3.68億DH。

4. 産業・エネルギー

①モロッコ輸出保険会社(SMAEX)の公的貿易保険¹³

モロッコ輸出保険会社(SMAEX:Société marocaine d'assurance à l'exportation)が従来の貿易保険を補強する形で公的貿易保険(Assurance Publique Complémentaire)のサービスを2010年1月から6月までの半年間提供する。必要に応じて延長も検討する。

②産業振興のための国家プログラムに関する融資関連合意¹⁴

産業振興のための国家プログラム(PNEI: Pacte National pour l'Emergence Industrielle)実施に向けて10億DHの融資にモロッコ銀行団(Attjarowafa銀行、BMCE銀行、BCP銀行)が合意。

モロッコが世界の中で比較優位性を有する分野(通称MMM: Métiers Mondiaux du Maroc)へ投資する外国企業と、進出企業の不動産および周辺サービスを提供するモロッコ企業への支援に充当する。

また、CCG(Caisse Centrale de Garantie)が「Emergent Invest 投資基金」の管理を行うことに合意。同基金は7億DH(政府3.5億DH、民間企業3.5億DH)を活用し、年間売上高(税抜き)が1億DH以下のモロッコ企業をサポートする。

¹¹ ル・マタン(2月2日)

¹² オピニオン(2月12日)

¹³ エコノマップ(2月18日)

¹⁴ エコノマップ(2月18日)

③フリーゾーン建設計画¹⁵

1月21日、モロッコ商工業・新技術省は3カ所のフリーゾーン建設を正式発表した。自動車関連分野を重視したケニトラのフリーゾーン(Atlantic Free Zone)に加え、農産・水産加工品を柱としたフリーゾーンをDakhla と Laâyoune に整備すると発表。Dakhla のフリーゾーン(Zone Franche d'exportation de Dakhla)は13.5ヘクタール、また Laâyoune には二カ所(Zone Franche d'exportation de Laâyoune I: 34.3ヘクタール、Zone Franche d'exportation de Laâyoune II:109.9ヘクタール)と大規模なものとなる。農産・水産加工品が主な分野となるが、皮革製品、電気関連、繊維なども受け入れる。

④モロッコ燐鉱石公社(OCP)パイプライン敷設国際入札開始¹⁶

ジョーフランスファーとフリブガ間のパイプライン敷設に向けて国際入札が開始された。パイプラインは全長180キロメートル。

⑤モロッコ燐鉱石公社(OCP)の硫酸製造¹⁷

OCPが新たに二つの硫酸製造ユニットの建設を開始した。各ユニットの生産キャパシティーは3410トン/日。必要投資額は16.5億DH。また、必要な電力を賄うため、6.3億DHを投資し、32MWの発電所を整備。その一部の電力は海水脱塩化の新工場用電力に充当される。同工場の海水脱塩キャパシティーは年間2600万m³。必要投資額は6.5億DH。

⑥モロッコ燐鉱石公社(OCP)の2010年の投資¹⁸

2009年の投資額60億DHに対して2010年は倍増の120～130億DHになる見込み。「Jorf Phosphate Hub」計画といったジョーフランスファーでの燐鉱石関連の強化で肥料関連大手外国企業10社の進出などに伴う整備費用、また、「Maroc Central」計画であるAl Massira ダムとAit Massoud ダムからの水のパイプラインに投資される。

⑦Desertec計画にモロッコも参画¹⁹

「Desertec 計画」参画会社の12社のうち10社がドイツ系企業、あとはスペインが1社、アルジェリアが1社となっているが、モロッコ、チュニジア、スペイン、フランス、イタリアから1社ずつ合計5社が新たに参画する。会社名は明らかにされていない。2050年までに欧州電力需要の15%をカバーするため4000億ユーロをかけて北アフリカなどに太陽熱発電施設を建設する計画。

¹⁵ オジドゥイ・ル・マロック(2月2日)

¹⁶ エコノミスト(2月11日)

¹⁷ エコノマップ(2月15日)

¹⁸ エコノミスト(2月15日)

¹⁹ エコノミスト(2月18日)、ロイター通信(2月17日)

⑧Nareva社の風力発電所²⁰

Nareva 社(ONA子会社)が Tarfaya より東100キロメートルに位置する Akfennir に発電容量200 MWの風力発電所を建設する。既存の発電容量240MWの風力発電所を補強する形である。

第1フェーズでは2011年に100MWを達成し、年間発電量は780GWhとなる。同地域の風力は秒速8.5～9メートル。工事は5月に開始予定。また、Laâyoune 地域の Foug El Oued と Tanger 地域の Haouma でも同様の発電所建設計画が策定されている。投資総額は30億DH。

⑨水道電気関連Lydec社の投資²¹

2007～2027年の20年間で125億DHを投資する。そのうちの65億DHは水管理分野に充当される。特に2010～2025年にかけて21億DHを投資し Mansouria, Médiouna, Nouaceur で浄水場を建設する。水の需要増に対応する。

5. その他

①ビジネス環境改善に向けた取り組み²²

モロッコは投資環境ランク付けの世界銀行発行の「Doing Business 2010」で183カ国中128カ国であったが、2011年ではランクアップを目指す。6月末までに環境改善しなければ2011年度版に反映されないとあって、ビジネス環境委員会は改革を急いでいる。例えば、会社設立における最低資本金の高さが指摘されており、モロッコは2006年に10万DHから1万DHに改定したが、現在は最低資本金なしを検討中。

②「Maroc Export」2010年の戦略²³

輸出強化対象国27カ国を戦略強化市場9カ国、(フランス、スペイン、イタリア、米国、ア首連、英国、ドイツ、サウジアラビア、バーレーン)、ニッチ市場6カ国(日本、韓国、ロシア、スウェーデン、トルコ、ポーランド)、その他12カ国(ベルギー、アルジェリア、ブルキナファソ、カメルーン、カナダ、コートジボワール、ガボン、赤道ギニア、リビア、モリタニア、ポルトガル、コンゴ(民))に分類。ニッチ市場に対しては輸出品目の拡大・多様化を目指す。

国際フェアにも積極的に参加し、モロッコ商品の輸出に繋げる。フェア参加予算も昨年の624万DHから1750万DHに増額。2010年は輸出関連企業コンソーシアムを新たに5社設立する予定(現在29社程度)。

③電信電話会社WanaがInwilに²⁴

²⁰ エコノミスト(2月4日)

²¹ エコノミスト(2月22日)

²² エコノミスト(2月16日)

²³ エコノミスト(2月12日)

法的には Wana 社であるが販売店などの看板は紫色の Inwi へ変更。モロッコ国内に直売店 450店舗、販売代理店2000店舗を構える。2月23日より、携帯電話、インターネットを含む InwiGSMを販売開始。

²⁴ エコノミスト(2月19日)

II. 諸外国等との関係

1. 外国政府との関係

2. 外国企業との関係

①仏系Crédit Agricole Corporate & Investment銀行がOCPに融資²⁵

仏系 Crédit Agricole Corporate & Investment 銀行がモロッコ燐鉱石公社 (OCP) に対し5億ドルの融資を行うことで合意。同融資は輸出融資保険会社 COAFACE が保証する。OCPのリン酸および肥料の生産拡大に充当するため。

②ジョー・フラスファー石炭火力発電所建設の入札²⁶

350MW 級の石炭火力発電所二基の建設に関する入札が行われていたが、技術審査を通過したのは日本・韓国コンソーシアム(三井物産及び大宇建設(韓国))と仏系コンソーシアム(Alstom Maroc, Alstom Power System, Tekfen Insast ve Tesisat et Tekfen)。

③Accorグループのホテル建設²⁷

Accor Hospitality 社は投資額10億DHをかけてここ5年間で30のホテルを建設する。カサブランカでは Sofitel Casa City Center、モハメディア、ナドール、タザ、アインスバーにおいて Hôtel Ibis を建設予定。

④建築資材販売会社仏系Gedimat社とモロッコ系Multicolles-Multiprobat社が提携²⁸

建築資材販売会社仏系 Gedimat 社は4年間で1億DHを投資し、Multicolles-Multiprobat 社の販売ネットワークを利用し、建築資材販売を強化する。2014年までに1年に一店舗のペースでラバト、マラケッシュ、タンジェ、ウジダ、アガディール、フェズに販売所をオープンする。

⑤Best Bitume社(モロッコ・米国系)の投資²⁹

道路補修会社 Best Bitume 社は、2006年に世界屈指の常温アスファルトメーカーであるアメリカ系 EZ Street 社とモロッコ投資会社により設立されたが、今回 Bensilmane にて常温アスファルトの生産工場を建設する。生産キャパシティーは960トン/日。投資額は1億DH。

²⁵ エコノマップ(2月16日)

²⁶ エコノマップ(2月19日)

²⁷ エコノミスト(2月8日)

²⁸ エコノミスト(2月25日)

²⁹ ル・マタン(2月12日)

3. 経済協力

①世界銀行の国別パートナーシップ戦略枠借款額の拡充³⁰

世界銀行の対モロッコ国別パートナーシップ戦略(CPS: Country Partnership Strategy)2010～2013年の3つの柱は(1)経済成長、競争力、雇用促進などの強化、(2)基礎サービスへのアクセス向上、(3)気候変動状況下での持続的開発であるが、2010年の借款額をこれまでの3億ドルから6億ドルへ2倍に拡充する。

②フランスの借款³¹

フランスがカサブランカ路面電車(トラムウェイ)敷設に2億2500万ユーロを借款。ここ2年間でTGV敷設に6億2500万ユーロ、ラバト路面電車敷設に1億2500万ユーロの借款を行っている。

③ドイツの無償援助³²

環境管理に400万ユーロ、再生可能エネルギー利用に250万ユーロ、砂漠化防止・自然保護に270万ユーロ、中小企業支援に430万ユーロ、職業訓練に100万ユーロ、研究費に50万ユーロの合計1500万ユーロを二国間技術協力の枠組みで無償援助。

④ EUの無償援助³³

「モロッコ国家教育プログラム」にEUが無償援助。具体的には義務教育の徹底と教師の質の向上に9300万ユーロ、農村部における校舎補修および校舎の建設に1500万ユーロを援助する。

³⁰ エコノミスト、エコノマップ(2月17日)

³¹ エコノマップ(2月16日)

³² エコノマップ(2月25日)

³³ エコノマップ(2月25日)